



# 千葉商科大学

## NEWS LETTER

—Vol.37— 2010年8月号

### 千葉商科大学学長 島田晴雄からみなさまへ

「千葉商科大学ニューズレター」は、教育・研究、地域連携、国際交流などさまざまな側面で行われている千葉商科大学の活動、「実学教育」のさらなる充実をめざした戦略的な取り組みなどの最新情報を、日ごろご支援いただいている皆様にお伝えしています。

ニューズレターの全文や記事の詳細は、本学 Webサイトに掲載されています。  
<http://www.cuc.ac.jp/>

◆ご意見、ご要望をお寄せください◆

発行者  
 千葉商科大学  
 戦略広報センター

〒272-8512  
 千葉県市川市  
 国府台 1-3-1

TEL  
 047-373-9968  
 FAX  
 047-373-9969  
 E-mail  
[p-info@cuc.ac.jp](mailto:p-info@cuc.ac.jp)



2008.4-2015.3

本学は、(財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価で認定されました



学長 島田晴雄

暑中お見舞い申し上げます。今年は、予想に反して暑い夏になりましたが、皆様お元気にご活躍のことと思います。この時期、大学は夏休みですが、教職員も学生諸君も活発に活動しています。

7月末に、学校法人千葉学園戦略会議の場で、これからの千葉商科大学と千葉商科大学附属高等学校の中長期的な総合的改革をめざす方向性について議論いたしました。少子化がますます進む中、大学も附属高校もその厳しい条件の中で生き残りをかけて、より良い教育を提供する戦略を進める必要があります。

大学については、経済や社会環境の大きな変化を受けた新しい時代のニーズに各学部の教育が的確に答えているかを精査し、未来志向の教育をめざすこと、また、学生諸君が履修する科目の質や量を学生一人ひとりのキャリア形成に合わせてより適切な姿に調整していくこと、教職員の適材適所と個々の能力の一層の開発と活用を進めることなどの課題を、全学部長会が特別委員会を編成して進めることにいたしました。

附属高校については、長期的な基本方針を定め、それを受けて教育内容等の具体的なプログラムを策定していくこと

などについて、基本的な合意を得ましたので、これを踏まえて、夏から秋にかけて具体的な作業を進めることになりました。

これらは大規模な改革ですので、全教職員の理解と参加を得ながら進める必要があります、時間もかかりますが、この取り組みによって大学も附属高校も新しい時代にふさわしい教育機関として、面目を一新することになると思います。

8月24日から29日までベトナムのハノイで、GPAC(アジア学生交流会議)2010の会議がいよいよ開催されます。学長ゼミの学生諸君は、連日、準備や努力を続けており、ご協力くださる先生方も指導に熱をこめてくださっています。この国際的な学生の学術会議は、志のある学生諸君にとって人生の貴重な体験と思い出になると思います。

皆様も健康に気をつけて、素晴らしい夏をお過ごしください。

**Photo Gallery**

オープンキャンパスでは高校生の輝く瞳が印象的

学生や先生方と大学のプールにて

島田学長からの熱いメッセージをオープンキャンパスで聴こう!!

## オープンキャンパス2010

予約不要

共通プログラム: 大学紹介、体験授業、個別相談、キャンパスツアー、学生座談会、IT放送スタジオ体験などを予定

受付開始 終了  
**9:30~15:00**

8月29日(日) 9月5日(日) 10月3日(日)

2020.

千葉商科大学

電車内ポスターを展開中!

掲出路線:  
 JR中央総武線、JR常磐線、JR武蔵野線、  
 JR千葉エリア、東武伊勢崎線・日光線、  
 京成線、北総線、新京成線

高校生たちが地球生命への熱い想いを提言

## 政策情報学部創設 10周年記念「第4回全国高校生環境スピーチコンテスト」

7月24日(土)、政策情報学部創設10周年記念「第4回全国高校生環境スピーチコンテスト」が開催されました。4回目となる今回のコンテストも全国から多くの応募があり、予備審査の結果、本選には13名が出演。今年は「今、私たちにできること」「生物多様性」のいずれかのテーマに沿って、高校生たちが地球生命への熱い想いを発表しました。審査の結果、最優秀賞には、國井秋穂さん(北海道標茶高校3年)の「ヒトとユク」が選ばれました。エゾシカが畑の牧草を食べてしまうなど、エゾシカ(ユ



ク)が人間(ヒト)にとって深刻な環境問題を引き起こしていることや、エゾシカを通して生物の多様性の尊さを知るとともに、ヒトとの関わりを考えて欲しいとスピーチを行い、審査員の高評価を受けました。特別賞には、中川沙羅葉さん(筑波大学付属坂戸高校3年)の「伊佐沼に生命力を」、政策情報学部賞には、平勇輝さん(香川誠陵高校2年)の「CO2xCH4—地球温暖化問題解決への提案—」と、菅原千映理さん(聖和学院高校2年)の「思い出」の中の自然を守るために」が選ばれました。入賞された4名の方には、宮崎緑政策情報学部長より、賞状及び賞品が手渡されました。また、今回のコンテストの様子は、千葉テレビでも報道されました。

## 全国の商業高校から選ばれた情報処理のエキスパートが千葉商大で熱き戦い!

「第22回全国商業高等学校情報処理競技会」が、7月25日(日)に本学を会場として実施されました。この競技会は、全国の商業高校生が情報処理に関する知識・技術を競うもので、このたびの大会では、北海道から沖縄まで全47都道府県から127校、284人の生徒が参加し、団体戦と個人戦が行われました。競技会は、「関連用語とデータベース」に関する試験と「表計算とアルゴリズム」に関する試験で構成され、団体戦は各校参加学生から上位3名の合計得点で競われました。両試験ともに100点満点の試験となっており、団体戦は岐阜商業高校が団体得点503点で昨年度に続いての優勝、2位には宇治山田商業

高校、3位には愛知商業高校が入賞しました。また、個人戦は宇治山田商業高校の浅井亮多さんが183点で優勝、2位には岐阜商業高校の坂下翔梧さん、3位には愛知商業高校の柴田豊彦さんが入賞しました。本学からは中澤興起商経学部教授が来賓として招待され、閉会式では本年度から贈られることになった「千葉商科大学賞」(賞状、カップ、記念メダル)を岐阜商業高校の皆さんへ授与しました。



あらゆる活動が活躍の場!

## 学生の活動 5

### 学生起業団体「ACT(アクト)」

工藤蒼宏さん 経営学科4年 鶴岡中央高校出身

我々ACTは「自発的に行動を起こす」を理念としたビジネスチームです。活動は、休講情報をメールで配信するサービスを始め、WEBサイト制作、印刷物制作、WEBサービス企画・運営等、幅広く積極的に行っています。仕事は他大学との交流会や異業種交流会で共感して下さった方々、ソーシャルネットワークワーキングサービスを通して依頼がきます。ACTの活動を始めたきっかけは、漠然としたビジネスマンへの憧れからでした。私は大学生になって自由な環境におかれたことで、ビジネスマンへの憧れはあったものの、何をしたらよいかかわからない時期がありました。そこで、多くの方々と交流を持ち、「大学生のうちにすべきこと」を聞いて回りました。その中で自然と見えてきたのが「まず、やってみる」ということ。「人の話を聞く」という行動が、自分を動かす次のステップへと導きました。「とにかく何かをしたい」という思いが強かったのです。最初は、「企業の広告入りルーズリーフ」を無料で学内に配布することを考えました。各企業に広告枠を買っていただき3枚1セットで学生に無料配布するという広告ビジネスです。このビジネスに取

り組んだのは、以前から興味があったこと、ランニングコストが安価だと感じたためです。専攻が経営だった事もあり、ビジネスの知識を実践で役立てることもできました。ニーズを調査するために、多くの意見や要望を聞き、手応えを感じ、自分の取り組みを紹介して回りました。その活動の中で、ACT現代表の杉山紘一さん(政策情報学科3年、県立船橋高校出身)と出会いました。私は、ビジネス活動と学業との両立のほか、新聞奨学生としての仕事もあり、睡眠時間を削って取り組んでいたのに、仲間を得られたことは大きな転換点でした。早速2人でACTを発足。活動を通して徐々に仲間も増え、ビジネスの幅が広がっていきました。今では「営業」「デザイン」「IT」「休講情報メールマガジン」「映像」と、それぞれが役割分担をするようになり、意見を出し合い、積極的に活動をしています。一人ではできないことも、仲間と協力することによって実現していくのがACTのスタイルです。



## お知らせ

応募方法等詳細は Web サイトでご確認ください

- 高校生対象「こんなビジネスやってみ大賞」 課題「ビジネスプラン」、募集期間9月30日まで。やってみ大賞(1名)には奨学金10万円。お問合せ先:教務オフィス 商経セクション [TEL] 047-373-9750
- 「サービス創造大賞2010」 課題「あったらいいな、こんなサービス」、募集期間10月31日まで。大賞(1点)には奨学金10万円。お問合せ先:教務オフィス サービス創造セクション [TEL] 047-373-9752

## 会計専門職大学院 夏季特別集中講義

「International Negotiation — ビジネスから紛争解決まで」

会計ファイナンス研究科では、山中燐子氏(前衆議院議員)による集中講義を開催いたします。

日 時:平成22年8月23日(月)、24日(火)、25日(水)  
18:30 ~ 21:40(途中10分間の休憩)

会 場: Galleria 商.Tokyo (丸の内サテライトキャンパス)

講 師: 山中燐子氏

(現 英国ケンブリッジ大学チャーチルカレッジ客員教授)

参加費用: 10,000円(全3日間)

定 員: 48名

申込期限: 8月17日(火)※定員になり次第締切

お問合せ先: 独立大学院オフィス

[TEL] 047-373-9755 [E-mail] grad@cuc.ac.jp

## サービス創造熱血フォーラム in 新潟

~新潟県が進化するための新たな視点を探る~

日 時:平成22年8月23日(月) 14:00~17:00(受付開始 13:00~)

参加無料・定員制(事前申込・先着順)

申込期限: 8月18日(水)※定員になり次第締切

会 場: 「朱鷺メッセ」新潟コンベンションセンター(新潟県)

講 演 者: 泉田裕彦 新潟県知事

島田晴雄 千葉商科大学 学長

吉田優治 千葉商科大学サービス創造学部 学部長・教授

荒木重雄 千葉商科大学サービス創造学部 特命教授

主 催: 千葉商科大学サービス創造学部、新潟県

お問合せ先: 教務オフィス サービス創造セクション

[TEL] 047-373-9752 [FAX] 047-373-9905

[E-mail] jim-fsi@cuc.ac.jp